

19
もーも
聖徒伝 45

「受け継がれる 約束」

民数記26～30章

新しい世代・二度目の人口調査

民数記⑤

【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. 2回目の人口調査 26章

II. 女性の相続規定 27章

ヨシュアの任命

III. ささげ物の規定 28～29章

IV. 女性の誓願規定 30章

V. まとめと適用

私たちの救いはどこに？

待ち望むべき唯一の方



【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

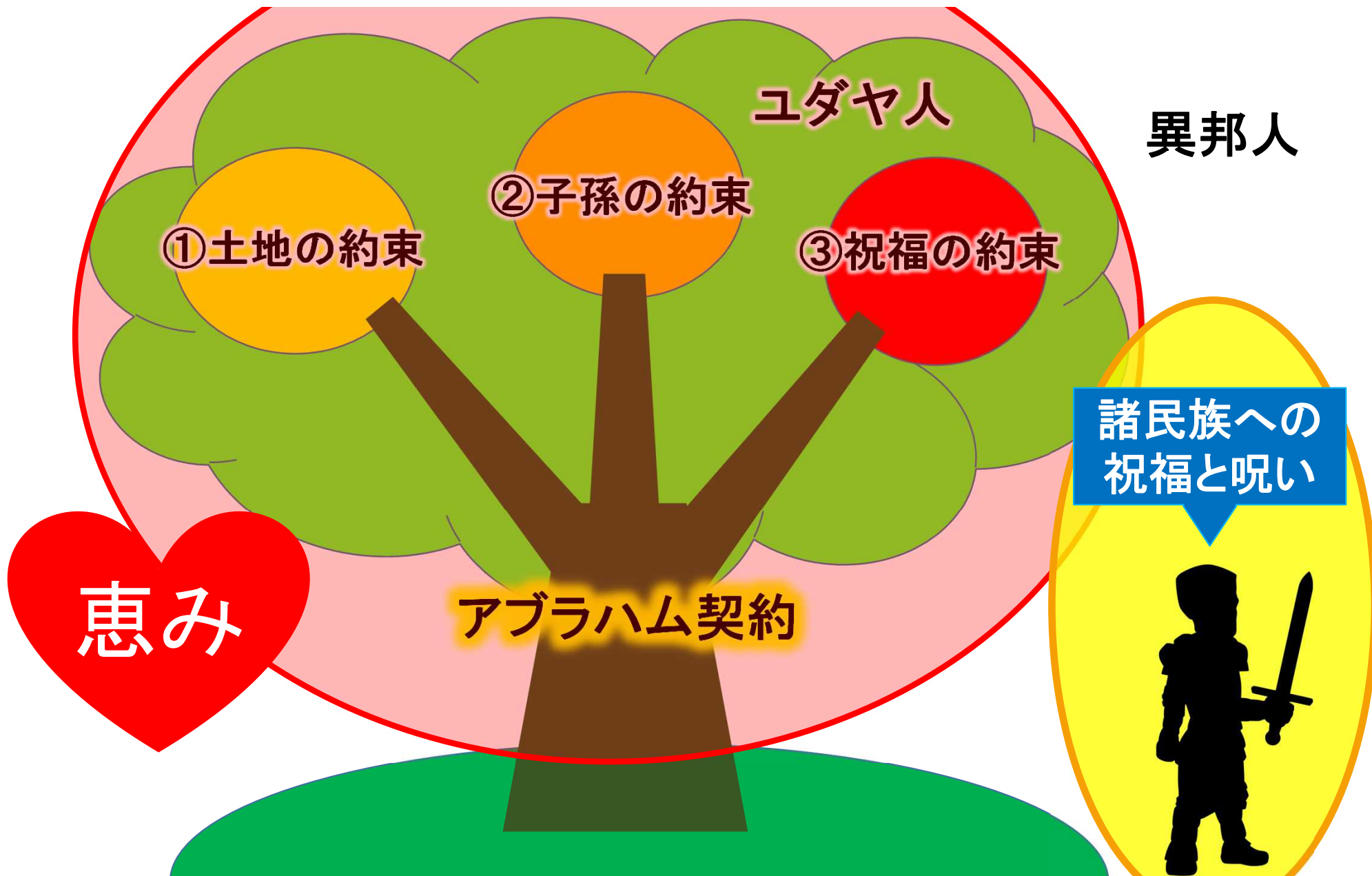
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

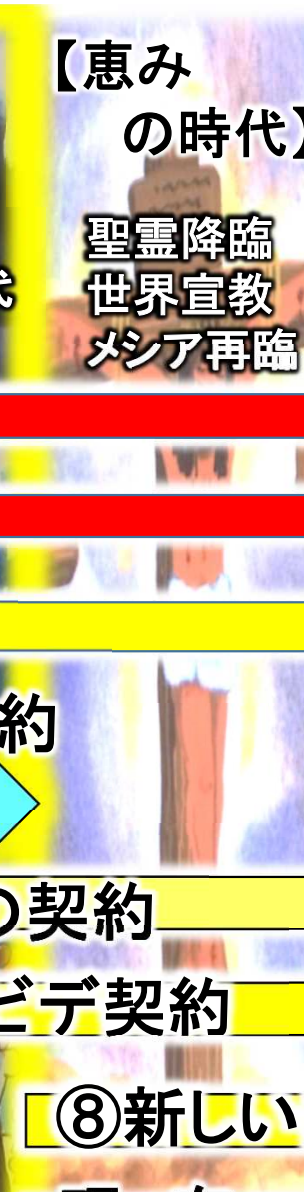
※しるし ...割礼

イスラエルを
守り導く土台



【アブラハム契約】





【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

【モーセの律法 十戒とは？】

★モーセの律法(モーセ契約・シナイ契約)

- ・シナイ山で、イスラエルと結ばれた契約
- ・「十戒」がその中心 ...全部で613の条項
(出20:1～申28:68)

★モーセの律法の七つの特徴

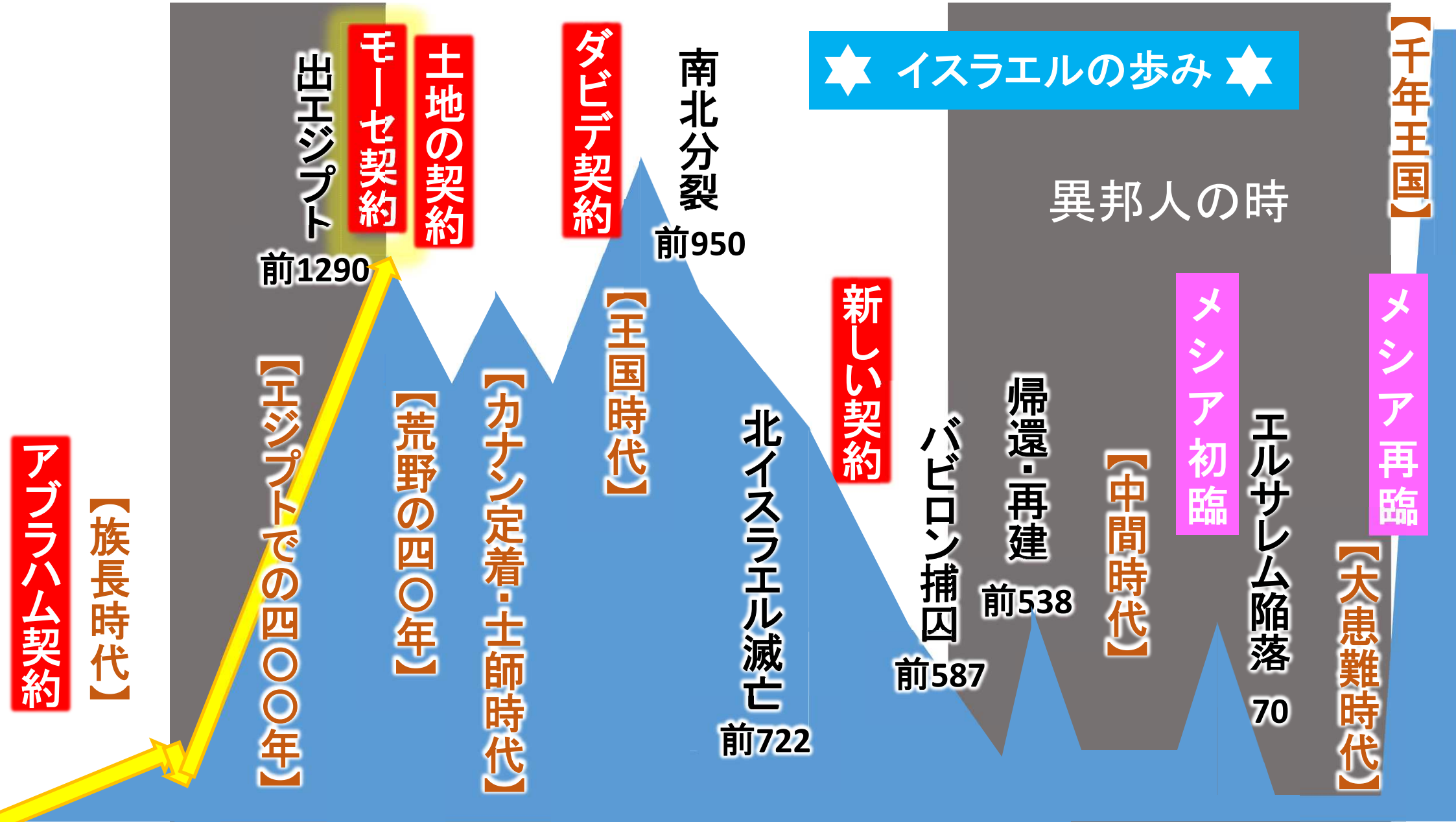
- ①救いの方法ではない。
- ②神が聖であることを示す。
- ③旧約時代の聖徒たちの行動基準である。
- ④人の罪を示す
- ⑤人にもっと罪をおかさせる力となる。
- ⑥人を信仰へと導く
- ⑦今現在は、すでに役目を終えた。



律法は、条件付き契約

従えば、祝福。破れば、呪い

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

【王国時代】

北イスラエル滅亡

バビロン捕囚

帰還・再建

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

南北分裂

前1290

前950

前587

前538

70

【イスラエルの荒野の歩み】

■エジプト → シナイ山まで

3ヶ月

■シナイ山での律法授与

- ① 一度目 40日間
- ② 金の子牛事件
- ③ 二度目 40日間

3ヶ月

■幕屋建設

(律法の学び?!)

6ヶ月

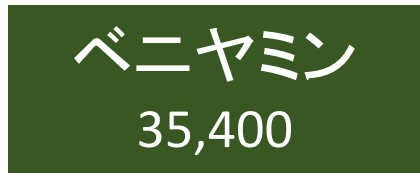
■点呼・出発 実践的訓練!!

1ヶ月後



【イスラエル全部族の隊列】

北 ↑ 157,600人



ゲルシヨン



アロン
モーセ



東 → 186,400人

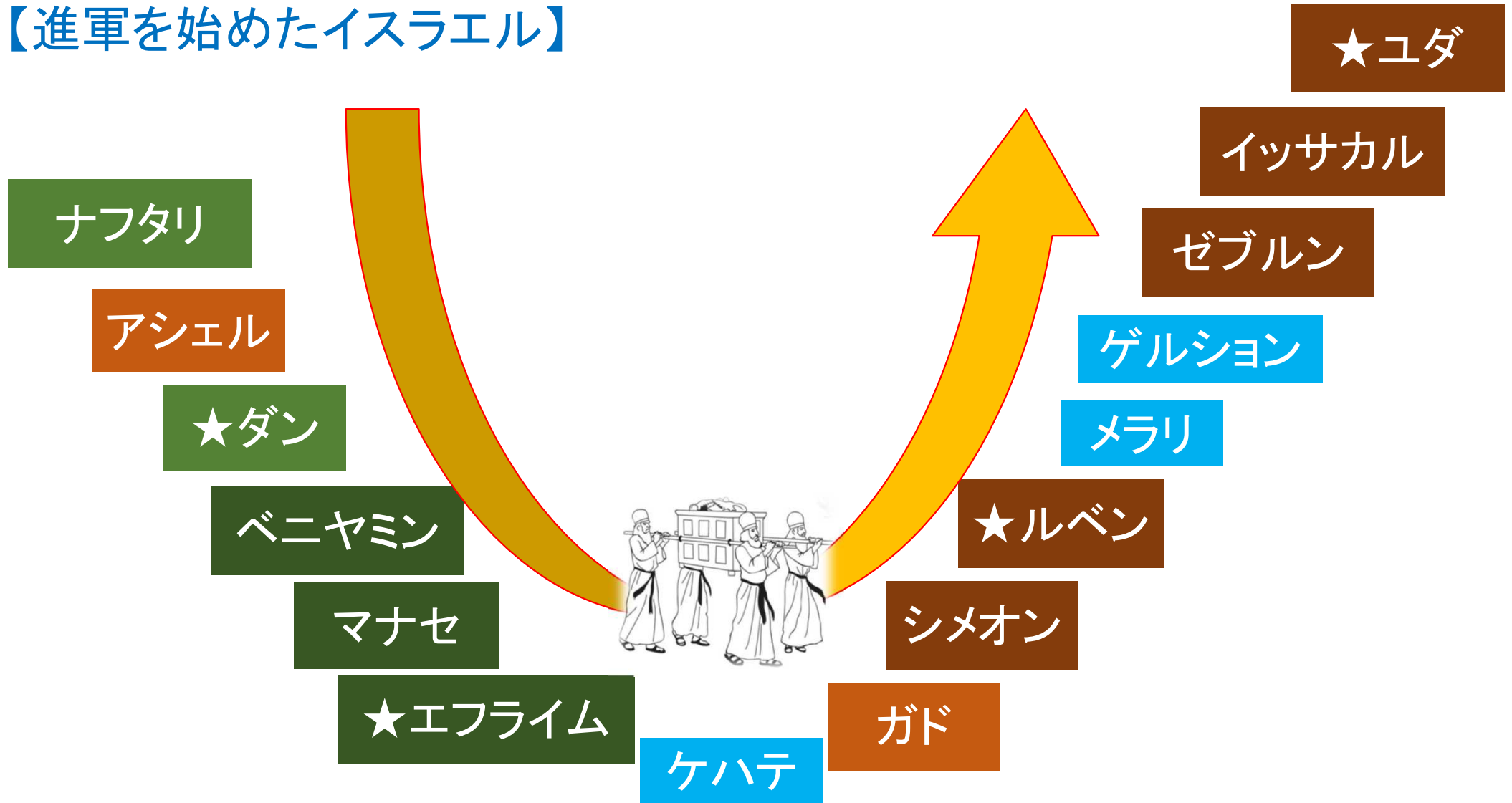
西 ← 108,100人



南 ↓ 151,450人

- レアの子
- レア(ジルパ)の子
- ラケルの子
- ラケル(ビルハ)の子

【進軍を始めたイスラエル】



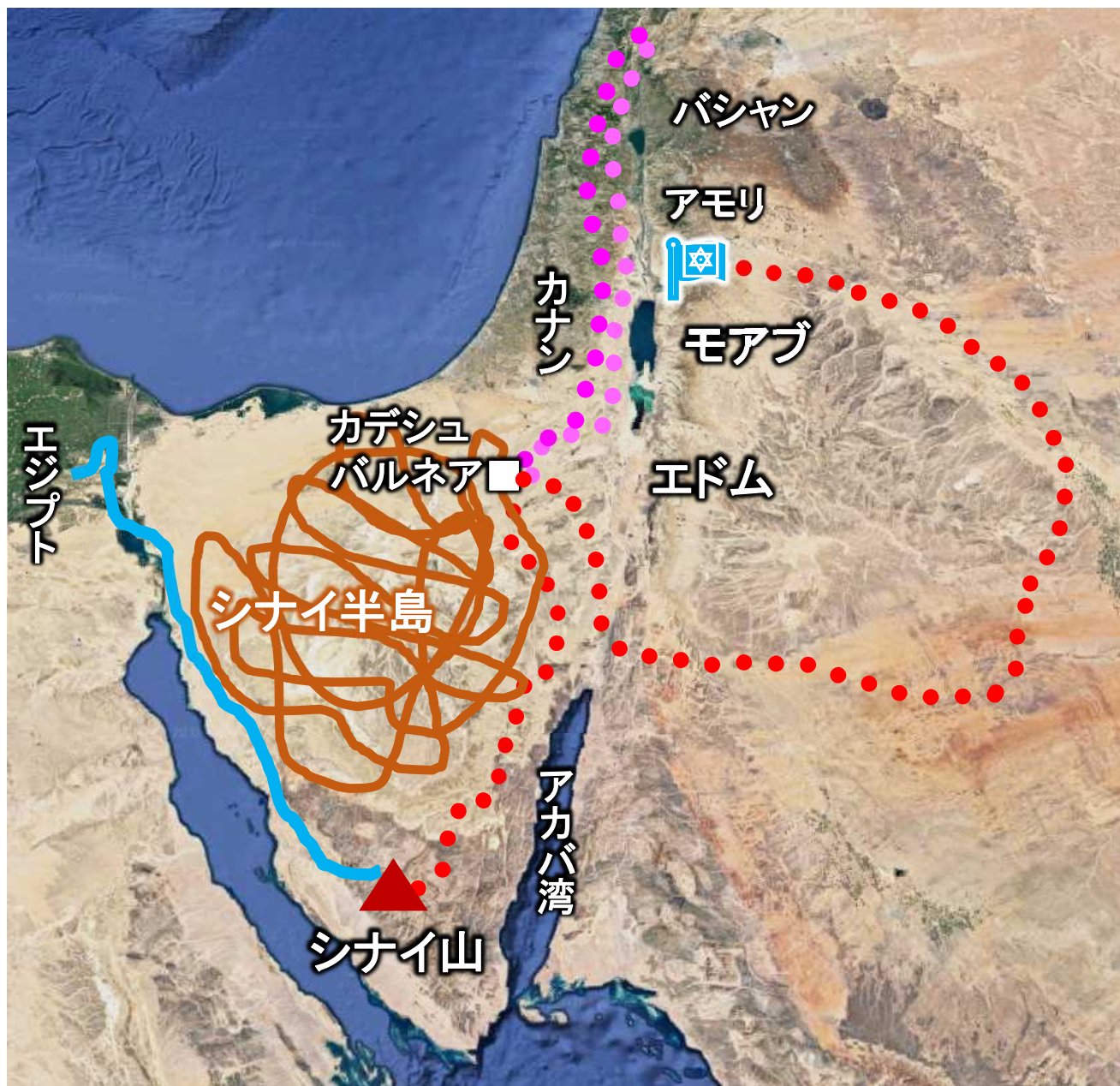
【荒野の40年】

■カデシュ・バルネア事件

イスラエルは、神に反逆し、その世代の者は、荒野で死に絶えることとなった。

■ エジプトから約束の地まで、歩いて10日ほどの距離をイスラエルは、40年放浪した。

■ ヨルダン川の東まで、イスラエルはやってきた。



I . 2回目の人口調査

民数記26章



【第2回の人口調査】 民26:1～3

この主の罰の後*のことであった。【主】はモーセと祭司アロンの子エルアザルに告げられた。

26:2「イスラエルの全会衆について、一族ごとに、二十歳以上で、イスラエルで戦に出ることができる者すべての頭数を調べなさい。」

26:3 そこでモーセと祭司エルアザルは、エリコをのぞむヨルダン川のほとりのモアブの草原で、彼らに告げた。

* 2万4千人が討たれたバアル・ペオル事件が、旧世代への最後の裁きとなった。

■ 交代した新世代に対しての40年ぶりの人口調査。



約束の地を前に
新世代の点呼が!!

イスラエルの人口調査

第1回		第2回		
①ユダ	74,600人	①ユダ →	76,500人	+1900
②ダン	62,700人	②ダン →	64,400人	+1700
③シメオン	59,300人	③イッサカル ↑ _{2up}	64,300人	+9900
④ゼブルン	57,400人	④ゼブルン →	60,500人	+3100
⑤イッサカル	54,400人	⑤アシェル ↑ _{4up}	53,400人	+11900
⑥ナフタリ	53,400人	⑥マナセ ↑ _{6up}	52,700人	+20500
⑦ルベン	46,500人	⑦ナフタリ ↓ _{1down}	45,400人	-8000
⑧ガド	45,650人	⑧ベニヤミン ↑ _{3up}	45,600人	+10200
⑨アシェル	41,500人	⑨ルベン ↓ _{2down}	43,730人	-2770
⑩エフライム	40,500人	⑩ガド ↓ _{2down}	40,500人	-5150
⑪ベニヤミン	35,400人	⑪エフライム ↓ _{1down}	32,500人	-8000
⑫マナセ	32,200人	⑫シメオン ↓ _{9down}	22,200人	-37100

第2回人口調査

人口の増減の背景は？

①ユダ	➡	76,500人	+1900	メシアの系譜。カレブを輩出。
②ダン	➡	64,400人	+1700	
③イッサカル	↑ _{2up}	64,300人	+9900	
④ゼブルン	➡	60,500人	+3100	
⑤アシエル	↑ _{4up}	53,400人	+11900	
⑥マナセ	↑ _{6up}	52,700人	+20500	長子権
⑦ナフタリ	↓ _{1down}	45,400人	-8000	
⑧ベニヤミン	↑ _{3up}	45,600人	+10200	
⑨ルベン	↓ _{2down}	43,730人	-2770	コラ事件に共謀(民16章)
⑩ガド	↓ _{2down}	40,500人	-5150	
⑪エフライム	↓ _{1down}	32,500人	-8000	長子権。ヨシュアが出たけど...
⑫シメオン	↓ _{9down}	22,200人	-37100	バアル・ペオル事件(民25章)

【相続地に関する主の命令】 民26:53～56

- 各部族の人数は、ヤコブの12人の息子に端を発し、その後の神への従順度が、さらに反映されたもの。
 - ➡ 各部族は、登録人数に応じた広さの土地を得た。

「ただし、その地はくじで割り当てられ*、彼らの父祖の部族の名にしたがって受け継がれなければならない。」

*くじ ...神ご自身が割り当てされるということ。



【レビ族の登録】

民数記3～4章



民数記26章

レビ人

22,000人

■ 生後1ヶ月以上

23,000人

ゲルシオン族

リブニ

シムイ

幕の運搬

ケハテ族

アムラム

イツハル

ヘブロン

ウジエル

祭具の運搬

モーセ
アロン

祭司の系譜

エルアザル

メラリ族

マフリ

ムシ

板・台座の運搬

【荒野の40年の総括】 民26:63～65

しかし、この中には、シナイの荒野でモーセと祭司アロンがイスラエルの子らを登録したときに登録された者は、一人もいなかった。それは【主】がかつて彼らについて、「彼らは必ず荒野で死ぬ」と言われたからである。彼らのうち、ただエフンネの子カレブとヌンの子ヨシュアのほかに、だれも残っていなかった。

- 信仰者カレブは、主を信じたすべての信者の型(影)。
 - 主の忠実な僕ヨシュアは、来たるべきメシアの型(影)。
- ヨシュア ➡ イエシュア(主は救い) ← イエス



Ⅱ. 女性の相続規定 ヨシュアの任命

民数記27章



【ツェロフハデの娘たちの訴え】 民27:1~4

■ヨセフ・マナセ族のツェロフハデの5人の娘たちの訴え。

27:3~4「私たちの父は荒野で死にました。父は、コラの仲間と一緒に、【主】に逆らったあの仲間たちには加わらず、自分の罪過によって死んだのです。しかし、父には息子がいませんでした。

27:4 息子がいなかったからといって、なぜ私たちの父の名がその氏族の間から削られるのでしょうか。私たちにも、父の兄弟たちの間で所有地を与えてください。」

■相続地の恵みにも、守り続ける義務にも、与れない!!
切迫した状況で、娘たちは率直に訴え出た。



【息子がいない場合の相続の規定】 民27:5～11

「そこでモーセは、彼女たちの訴えを【主】の前に差し出した」

■ 主の答えは、「娘たちに相続地を与えよ」

➡ 息子がいない場合の相続の順番が定められた。

① 息子がいなければ、娘に。

② 娘もいなければ、亡父の兄弟に。

③ 亡父の兄弟もいなければ、亡父の父の兄弟に。

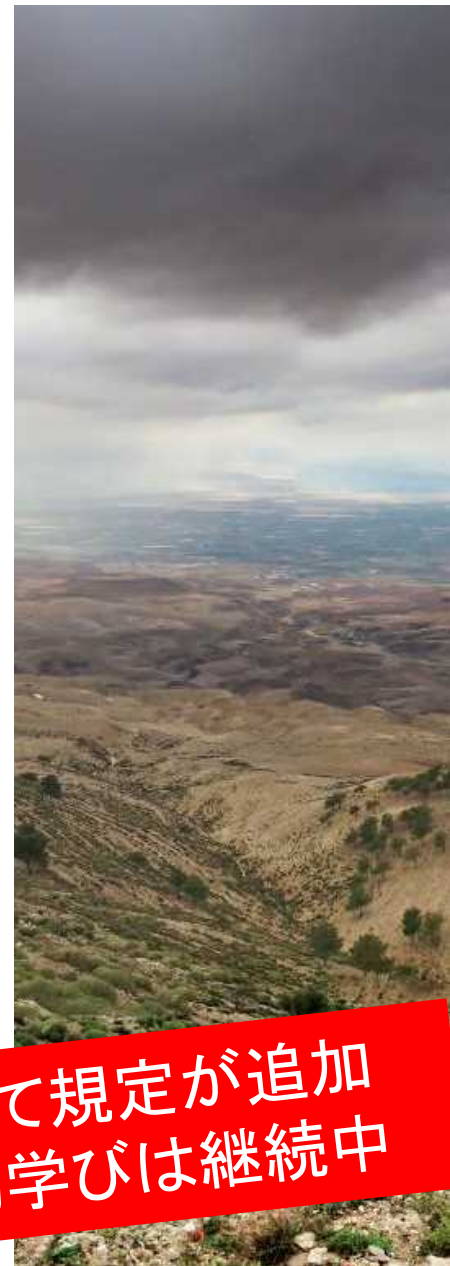
④ 亡父の父の兄弟もいなければ、最も近い血縁に。

■ この律法の規定が忠実に実行されているのが、ルツ記。

➡ ナオミの夫エリメレクの相続地を、

④ 最も近い血縁のボアズが継いだ。

必要に応じて規定が追加
民の体験的学びは継続中



【モーセへの主の宣告】 民27:12～14

【主】はモーセに言われた。「このアバリム山に登り、わたしがイスラエルの子らに与えた地を見よ。

それを見て、あなたもまた、あなたの兄弟アロンが加えられたのと同じように、自分の民に加えられる。

ツインの荒野で会衆が争ったとき、あなたがたがわたしの命令に逆らい、彼らの見ている前で、あの水のところで、わたしが聖であることを現さなかったからである。」
これはツインの荒野のメリバテ・カデシュの水のことである。」

救いはどこに？

■ 一度の不信仰により、約束の地への道は閉ざされた。




【モーセの願い】 民27:15～17

モーセは【主】に言った。

「すべての肉なるものの霊をつかさどる神、【主】よ。一人の人を会衆の上に定め、彼が、彼らに先立って出て行き、先立って入り、また彼らを導き出し、導き入れるようにしてください。【主】の会衆を、羊飼いのいない羊の群れのようにしないでください。」

- モーセが憂い、願っているのは、会衆のこと。
最も謙遜な者モーセの、イスラエルへの深い愛情。
- 指導者に何より求められるのは、導く民への愛。
- 指導者の最大の使命は、次の指導者の育成。



すべての人は、
誰かのリーダー!!
ましてクリスチャンは？

【神が選んだ後継者】 民27:18～20

【主】はモーセに言われた。「あなたは、**神の霊の宿っている人、ヌンの子ヨシュア**を連れて来て、あなたの手を彼の上に置き。

彼を祭司エルアザルの前に、また全会衆の前に立たせ、彼らの目の前で彼を任命せよ。

あなたは、自分の権威を彼に分け与え、イスラエルの全会衆を彼に聞き従わせよ。

■ 律法のこの時代、神の霊(聖霊)は、神の定めた時、
神ご自身が選んだ者に、降り、宿った。
➡ 神が、ヨシュアを、モーセの後継者に選んだということ。



【ヨシュアの任命】 民27:21～23

彼は祭司エルアザルの前に立ち、エルアザルは【主】の前で、ウリムによるさばき*を自分のために伺わなければならない。ヨシュアと彼とともにいるイスラエルの子らのすべての者、すなわち全会衆は、エルアザルの命令によって出、また、彼の命令によって入らなければならない。」
モーセは【主】が命じられたとおりに行った。ヨシュアを連れて来て、彼を祭司エルアザルと全会衆の前に立たせ、自分の手を彼の上に置いて、【主】がモーセを通して告げられたとおりに任命した。

* 大祭司の肩当ての二つの石を用いた神託のこと。

■ヨシュアの権威は、モーセに及ぶものではない。



Ⅲ. ささげ物の規定

民数記28～29章



【ささげ物についての命令】 民28:1 ~2

【主】はモーセに告げられた。


「イスラエルの子らに命じて彼らに言え。あなたがたは、わたしのための食物、わたしへのささげ物を、わたしへの食物のささげ物、芳ばしい香りとして、定められた時に確実にわたしに献げなければならない。」

■ 新世代のために、ささげ物の規定が再度告げられる。

➡ ささげものと、個々の礼拝、例祭が関連して説明。

■ ささげ物について重要なのは、定められたものを、定められた時にささげること。

➡ それは、主の御心にかなったささげ物なのか？



ささげ物が
自己満足に
なっていないか？

【ささげ物】

受難

千年王国

毎日(常供のささげ物)	傷のない雄の子羊2匹。朝に1匹、夕に1匹。 これが基本!! +αが下記 ※1匹ごとに、小麦粉4.6ℓ(オリーブ油950mℓ)		
安息日	傷のない雄の子羊2匹。朝に1匹、夕に1匹。 ※1匹ごとに、小麦粉4.6ℓ(オリーブ油950mℓ)		
新月祭(月の最初)	若い雄牛2頭。 (小麦6.9ℓ)	雄羊1匹。 (小麦4.6ℓ, ワイン7.6ℓ)	傷のない一歳の雄の子羊7匹。 (小麦2.3ℓ, ワイン5.6ℓ)
過越祭	過越のいけにえ ... 傷のない一歳の雄の子羊、もしくは、子ヤギ。		
除酵祭	若い雄牛2頭。 (小麦6.9ℓ)	雄羊1匹。 (小麦4.6ℓ)	傷のない一歳の雄の子羊7匹。 (小麦2.3ℓ)
五旬祭(7日間毎日)	若い雄牛2頭。 (小麦6.9ℓ)	雄羊1匹。 (小麦4.6ℓ)	傷のない一歳の雄の子羊7匹。 (小麦2.3ℓ) ※民自身の宥め・雄ヤギ1匹
ラツパの祭り	若い雄牛2頭。 (小麦6.9ℓ)	雄羊1匹。 (小麦4.6ℓ)	傷のない一歳の雄の子羊7匹。 (小麦2.3ℓ) ※民自身の宥め・雄ヤギ1匹
贖罪日	若い雄牛2頭。 (小麦6.9ℓ)	雄羊1匹。 (小麦4.6ℓ)	傷のない一歳の雄の子羊7匹。 (小麦2.3ℓ) ※民自身の宥め・雄ヤギ1匹
仮庵祭(7日間合計)	若い雄牛70頭。 (小麦483ℓ)	雄羊14匹。 (小麦64.4ℓ)	傷のない一歳の雄の子羊196匹。 (小麦450.8ℓ) ※罪のきよめ・雄ヤギ7匹

イスラエルの祭りとメシアの生涯

	祭りの名称	レビ記	月	日	太陽暦	メシアの生涯
春の祭り メシアの初臨	①過越の祭り	23:5	第一の月 (ニサン)	14日	3~4月	受難
	②種なしパンの祭り (除酵祭)	23:6~8	第一の月	15~21日 (7日間)	3~4月	贖罪
	③初穂の祭り	23:10~ 14	第一の月	除酵祭の 安息日翌日	3~4月	復活
	④五旬節の祭り (ペンテコステ)	23:15~ 21	第三の月 (シワン)	初穂祭の 50日後	5~6月	聖霊降臨
夏期	中間期	23:22				世界宣教 (教会時代)
秋の祭り メシアの再臨	⑤ラツパの祭り	23:24~ 25	第七の月 (ティシュリ)	第一日目 (新月の日)	9~10月	携拳 (空中再臨)
	⑥贖罪の日 (ヨムキプール)	23:27~ 32	第七の月	10日	9~10月	大艱難時代
	⑦仮庵の祭り	23:34~ 43	第七の月	15日	9~10月	千年王国 (再臨)

50日間

4ヶ月

14日間

※「さて、過越の祭りといわれる、種なしパンの祝いが近づいていた。ルカ22:1」

【際だって特徴的な二つの例祭のささげ物】

■ 過越祭

傷のない一歳の子羊 → 受難のメシアを示す

■ 仮庵祭(7日間合計)

若い雄牛70頭。雄羊14匹。一歳の雄の子羊196匹。

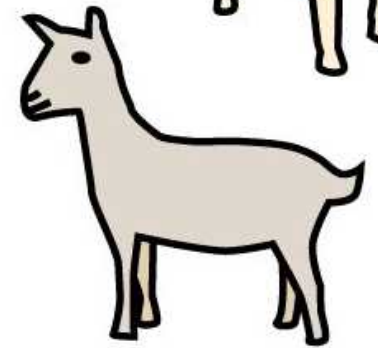
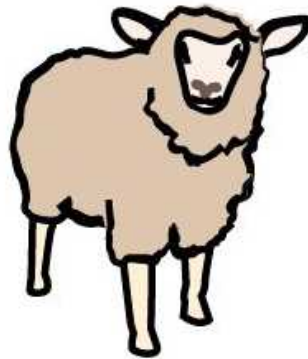
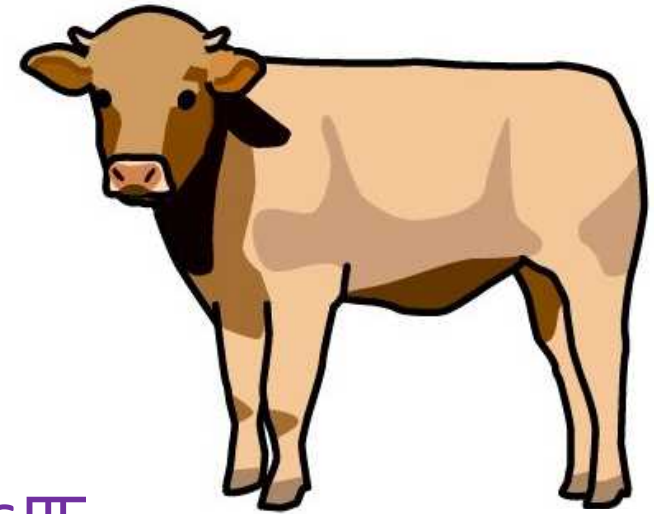
(小麦483ℓ) (小麦64.4ℓ) (小麦450.8ℓ)

※罪のきよめのための雄ヤギ7匹

→ 膨大なささげ物は、千年王国を示すもの!!

■ 千年王国においても、ささげ物がささげられる。

(エゼキエル40,42～46章)



【もっとも重要なささげ物の原則】 民数記29:40
「モーセは、【主】がモーセに命じられたとおりを、
イスラエルの子らに告げた。」

■ 律法の時代のささげ物で、一番重要なことは？

➡ 主が命じられた通りに、ささげること!!

■ モーセは、決して、なぜ？とは、問わなかっただろう。

➡ ささげ物を通して、求められるのは、主への従順!!

人の判断には、検証が必要!!

神の判断には、従うだけ!!



IV. 女性の誓願規定

民数記30章



【誓願の原則】 民数記30:1～2

モーセはイスラエルの諸部族のかしらたちに告げた。「これは【主】が命じられたことである。男が【主】に誓願*をするか、あるいは、物断ちをしようと誓う場合には、自分のことばを破ってはならない。すべて自分の口から出たとおりのことを実行しなければならない。」

* 神への誓願とは、ささげ物を伴う神への約束のこと。

■ 誓願の原則

- ① 個人の自由意志で行う。
- ② 軽々しくしてはならない。(箴言20:25)
- ③ 守らなければならない。(申命記23:21)
- ④ 公に宣言しなければならない。(申命記23:23)



【誓願の原則】 民数記30:1～2

モーセはイスラエルの諸部族のかしらたちに告げた。「これは【主】が命じられたことである。男が【主】に誓願をするか、あるいは、物断ちをしようと誓う場合には、自分のことばを破ってはならない。すべて自分の口から出たとおりのことを実行しなければならない。」

■ 律法の契約の主体は、イスラエルの成人男子。

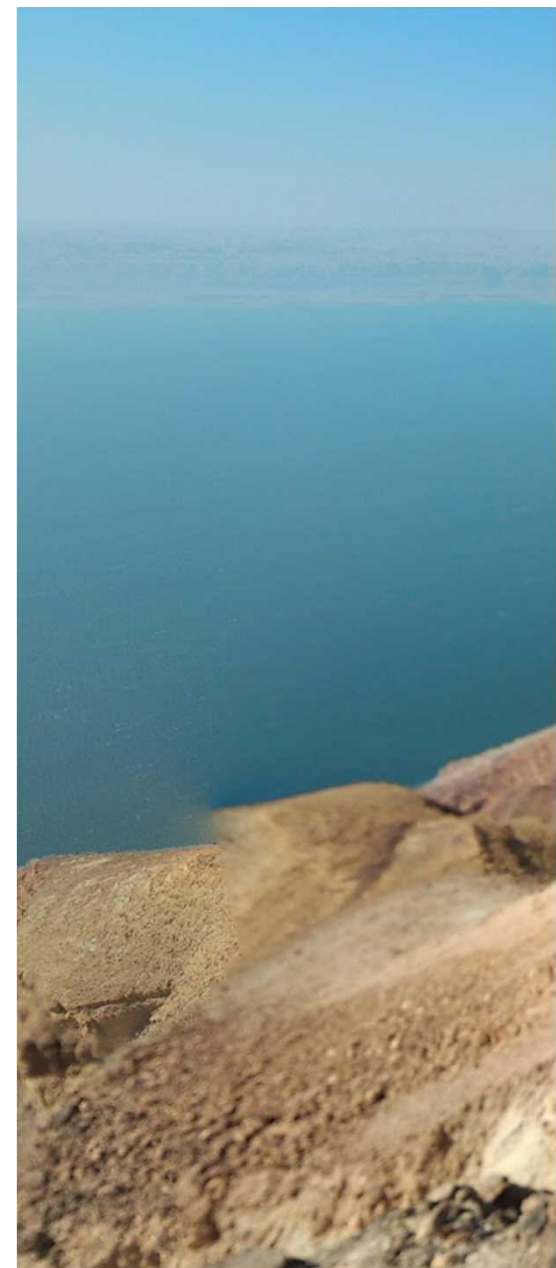
■ 最初の契約は、神がアダムと結んだもの。

律法の土台は、神がアブラハムと結んだ契約。

■ 神と誓願した男は、それを守る責任がある!!

聖書の求める父性は、神との約束に基づくもの。

➡ 約束に基づく秩序の模範こそ、聖書的父性



【女性の誓願の場合】 民数記

■この規約は、カナン定住後の豊かな生活が前提。

■女性の誓願に関する原則

①女性も、誓願ができた。

②家長の承認が必要だった。

...未婚の娘は、父の承認。妻は、夫の承認。

③家長の承認が得られないなら、取り消された。

④やもめや離婚した女性、独り身になった成人女性は、
家長の承認を経なくとも、その誓願は有効。

■律法において、女性に契約の当事者としての直接の責任はなかった。

➡家長には、律法に従うことが厳格に求められた。



V. まとめと適用

私たちの救いはどこに？
待ち望むべき、唯一の方



【モーセの死が教えてくれる私たちの希望】

- カデシュ・メリバでの一度の過ちにより、モーセは、約束の地を拒まれた。
モーセですら、約束の地に入れないなら、一体誰が？
- ヨシュアが示す、救い主イエスが、信じた者に、神の国を約束される。
カレブが示す、主を信じ、救われた者となるよう、求められている。
- メシアが、救いのみ業を成し遂げられた、今の時代に信じるべきことは、
“主イエス・キリストは、私の罪のために十字架にかけられ、
死んで葬られ、復活した。” この福音を信じること。
- 主イエスは、生きておられ、信頼を寄せる者を救うことができる。

【偉大な指導者モーセと後継者ヨシュアに学ぶこと】

■ 後にも先にも、モーセのような預言者は現れなかった。

ヨシュアは指導者となったが、神の言葉は大祭司エリアザルが受けた。

■ 偉大な指導者の後継は難しい。誰も、同じことはできない。

でも、クリスチャンは、何も悩む必要はない。主が助けてくださるから。

■ 一つの時代を拓く、大きな働きを担わされる信仰の先導者がいる。

後に続く者が、同じ働き・奉仕を担う必要はない。

■ 私たちの奉仕の源泉は、聖霊の賜物。その現れは、一人一人異なる。

主に聞き従い、自分に今できることを、地道に積み重ねていこう。

【主が担わせてくださっている、自分の働きを見つけよう!!】

■ 信仰者は、果てのない自分探しなど、する必要はない。

答えは、すべて、すでに、聖書に記されているから。

■ 聖書全体を一つの生きた神の教えとして学んでいこう。

聖書の適用とは、出会わされたその人に、どう伝えるかということ。

そして、地域教会という共同体の中で、具体的な働きを担っていくこと。

■ モーセもヨシュアも、働きの中で、成長させられていった。

小さな一歩で十分だから、今日から、具体的に、動きだそう。

あなたが置かれたその場所で、なすべきことが必ずある!!

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

律法(りっぽう)が示(しめ)すメシアは来(こ)られ、

み業(わざ)をなしとげられました。

キリストの体(からだ)なる教会(きょうかい)で、

心(こころ)からの奉仕(ほうし)に あたらせてください。

ますます喜(よろこ)んで 御言葉(みことば)を学(まな)び、

福音(ふくいん)を 告(つ)げ知(し)らせていくことができますように。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」